もくじ

1. かちかち山 …… 2

2. はなさかじいさん ……26

3. さるかに合戦 ……46

4. 虫愛ずる姫君 ……70

5. トラとキツネ ……92

6. つるのおんがえし …… 108

かちかち山（やま）

原作：　日本の昔話

イラスト：　サトウ アユミ

編集：　YellowBirdProject

「おい、ばあさんや、今日の晩飯はたぬき汁だぞ！」

　おじいさんは捕まえたたぬきを、家の中につるしました。

「ばあさんや、わしはまた畑に戻るが、
たぬきがなにを言っても、
決してこの縄を解いてはいけないよ」

　おじいさんはそう言って、家を出ていきました。

　おばあさんは今夜のたぬき汁に入れる、もちをつき始めました。

むかし、京の都の、とある貴族のお屋敷に、一人の姫君がいました。

この姫君は、とても変わり者の娘として、有名でした。

というのも、この姫君は『虫』が大好きだったのです。

姫君は自分の部屋で、外で見つけてきたさまざまな虫を、かごに入れて飼っていました。

お屋敷で働く女官たちは、みんな虫が苦手で、姫君の部屋に入る時は、いつも虫におびえていました。

それから三日三晩、おつうは飲まず食わずで機を織り続けました。

四日目の晩に、やつれた姿で部屋から出てきたおつうは、弥助に一反の織物を差し出しました。

翌朝、弥助はさっそく織物を持って町へ出かけました。

織物はとても高い値で、呉服屋が買い取ってくれました。

二人はそのお金で、しばらくの間、食べ物にこまることなく暮らしていくことができました。

しかし、長い冬が続き、次第にまた、お金も食べ物も尽きてきました。